

Kindergarten



園児らが収穫の喜びを体感

千里幼稚園(鈴木勝義園長)の園児らは7月20日、園庭の畑でジャガイモを収穫しました。

同園では、食育の一環として毎年野菜作りに取り組んでおり、今年はジャガイモのほか、サツマイモも作付けしました。

収穫したジャガイモは、家へのおみやげとして園児らに持たせたほか、お誕生日会で出すカレーやシチューなどに使われます。



写真上 「あったー」とあちこちで声が上がります
写真左 どっちが大きいかな? 掘ったいもを品定め
写真右 収穫したジャガイモを前に笑顔を見せる年少組の園児ら



Nursery school



児童たちがまつりで大活躍

中ノ沢・沼尻・横向温泉祭りは7月22日、中ノ沢温泉街などで開催されました。この祭りには中ノ沢保育所の児童らも参加し、祭りを盛り上げました。

母成グリーンライン広場で執り行われた母成慰霊祭では、さくらA組の児童7人が白虎隊の剣舞を奉納。季節外れの肌寒い風が吹く中、児童らは元気に舞い、戊辰戦争の激戦地、母成峠の戦いで戦死した東軍殉難者の霊を慰めました。会場にはビデオカメラなどを手にした保護者らが駆け付け、子どもたちのりりしい姿に目を細めていました。

中ノ沢温泉街では、鼓笛パレードや子どもみこしが行われ、保護者や観客らでにぎわいました。

中ノ沢温泉事務所から同温泉広場までの間を練り歩いたこどもみこしには、中ノ沢保育所の児童全員が参加。「やっかやーれやーれ」と温泉街に元気な声が響き渡りました。



写真上 母成慰霊祭で白虎隊の剣舞を奉納するさくらA組の児童ら
写真下 「そーれいち、に、さん」のかけ声に「やっかやーれやーれ」と元気な声を上げみこしを引く児童ら

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO



全校生徒で地域をきれいに

猪苗代中学校(宇南山忠明校長)は6月28日、町内でクリーンアップ作戦を実施しました。

全校生徒292人が参加したこの活動は、ボランティア精神を養うとともに、通学路や地域の美化に努め、地域に貢献する意識を高めることを目的に実施されたもの。クラスごとに担当地区を分け、町役場、亀ヶ城公園、猪苗代駅や同校などの周辺を清掃しました。

同校校庭での開始式終了後、生徒らは一斉に学校を出発し、東西約1km、南北約2kmにわたり道路や水路、公共施設の敷地などに捨てられたごみを拾い集めました。

扇田公園の周辺を清掃していた3年2組の吉川大さんは、「たばこの吸がらなど、目立たないごみが多い。近くにごみ箱があるのに、そこに捨てられていないのが残念です」と感想を述べました。



写真上 亀ヶ城跡を清掃する1年2組の生徒ら。「普段何気なく見ると気付かないが、よく見てみるとごみが多い」と話していました。
写真下 扇田公園周辺を清掃する3年2組の生徒ら



和気あいあいと清掃・交流

猪苗代養護学校(原美子校長)の高等部と猪苗代高等学校(根本良政校長)の生徒らは7月10日、合同で猪苗代湖の志田浜を清掃しました。

この活動は、地域の高校生との交流を図るため、養護学校が猪苗代高校に申し入れて実現したもの。養護学校高等部の生徒10人と猪苗代高校国際観光課3年の生徒34人が清掃活動に取り組みました。

始まりの会で両校の生徒代表あいさつや諸注意の説明などを行った後、5班に分かれて清掃を開始。両校の生徒らは、協力してごみや湖岸に流れ着いた水草などを拾い集めていました。

清掃終了後の解散式では、猪苗代高校の佐藤寿樹さんが「きれいになったので、夏はみんなで泳ぎに来ましょう」とあいさつ。養護学校高等部の杵藤つかささんは「皆さんと交流活動できてとてもうれしく思います」と感想を述べました。



写真上 協力して清掃する猪苗代養護学校と猪苗代高等学校の生徒ら
写真下 「見合って見合ってー」休憩時間に相撲を取る猪苗代養護学校と猪苗代高等学校の生徒

Junior high school

High school & Special support education school